

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No216

2023年10月7日@横浜市青葉区 青葉公会堂(アーカイブ)

横浜市青葉区×桐蔭学園シンポジウム「認知症リスク予防・幸福寿命を考える」
高齢者に対しても「二つのライフ」(キャリア意識)は重要?!

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

青葉区 × 桐蔭学園 共催シンポジウム

幸福寿命を 考える

一つながりが紡ぐ 100年人生

～認知症になっても自分らしく安心して暮らせるまち青葉区を目指して～



参加費
無料

定員300名

参加者募集!

青葉区と桐蔭学園は、令和4年から、健康寿命の延伸と健康格差の縮小等に寄与することを目的に健康調査研究を実施しました。今回の調査結果をふまえ、人生100年代において前向きな人生を送るヒントを皆さまにお伝えします。

日程 2023年10月7日(土)
14時～16時(13時開場)

休講イベントも
実施します!
お早めにご連絡
ください。

内容 調査結果報告、認知症専門医による講演、
ディスカッションなど

会場 青葉公会堂(青葉区市ヶ尾町31-4)
東金田駅前市営「市が尾駅」下車 徒歩10分
東金田駅前市営「青葉台」市が尾駅、
小田急線「相生駅」、JR横浜線「中山駅」よりバス
「青葉区 総合会館」バス停下車すぐ
青葉区役所有料駐車場をご利用下さい。



登壇者



桐蔭学園 理事長・横浜国立大学 教授
澤上 慎一
2003年京都大学高等教育研究開発推進
センター助教授(准教授)、2014年同教
授を経て、2018年9月に桐蔭学園へ着
任、2019年4月より理事長就任、2020年
4月より現職。



たかしまメモリークリニック 院長
高橋 正彦
精神科、高知医科大学医学部卒、元仙台
市立病院認知症疾患医療センター科長、
元大倉山記念病院精神科の忘れ外来
部長、元かわさき記念病院診療部長、認
知症サポート医、精神保健指定医。

ファシリテーター ダイワ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡 詩野

申込 ▶WEBまたはお電話 ☎ 045-978-2449

青葉区 シンポジウム

検索



お問い合わせ

青葉区福祉保健センター高齢・障害支援課
電話 045-978-2449

桐蔭学園トランジションセンター

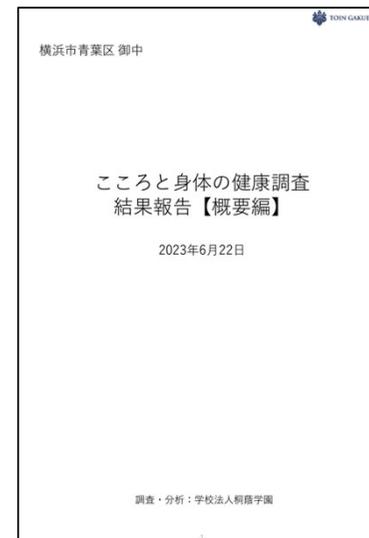
電話 045-975-2100 / メール transition@toin.ac.jp

青葉区・学校法人桐蔭学園

横浜市青葉区役所・学校法人桐蔭学園 共催 シンポジウム

幸福寿命を考える一つながりが紡ぐ100年人生
「認知症になっても自分らしく安心して暮らせる
まち青葉区」を目指して

・ 2023年10月7日開催



『ころと身体健康調査』

調査対象：40～79 歳の区民男女各1,500名(計3,000名)

講演内容

- 人生100年時代・長寿化
- なぜ桐蔭学園は地域に関わるのか
- 「こころと身体 の健康調査」 報告
 - ① 調査結果から見る青葉区民の認知症発症リスクの状態
 - ② 認知症リスクの影響要因
 - 「階段を支えなしで昇る」「居場所」
 - 「インターネット・SNSの利用頻度」
 - ③ 二つのライフの影響可能性
 - 中年期の人・高齢者においても有効か！



市ヶ尾中学校ブロックの「あいさつ運動」プロジェクト



あざみ野「認知症の人に優しい街へ」シンポジウム

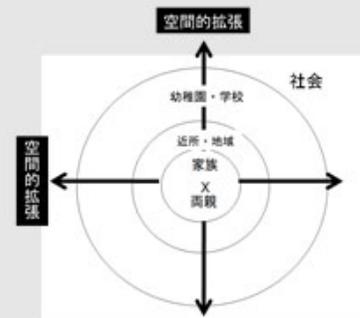
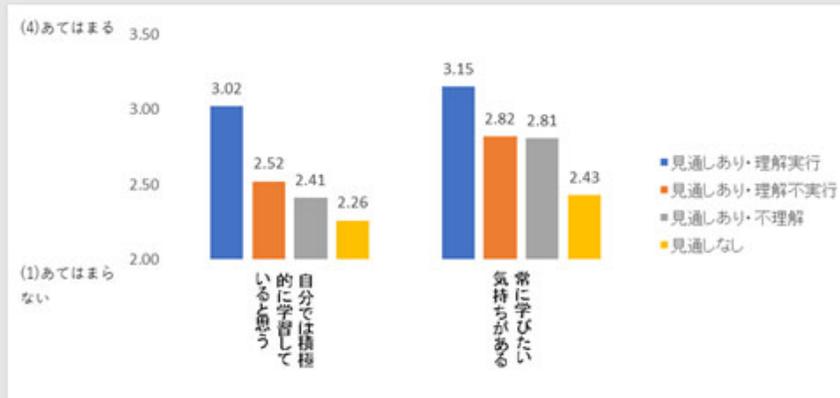
Number 3-2



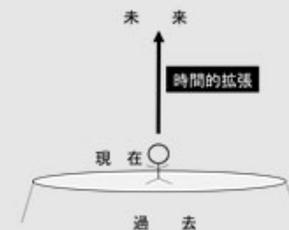
高校生の学び成長 するための『大学選び』② — 将来の見通しを持つ —

“見通しあり・理解実行”は“見通しなし”に比べて、大学で学び成長する

二つのライフの理論的な説明



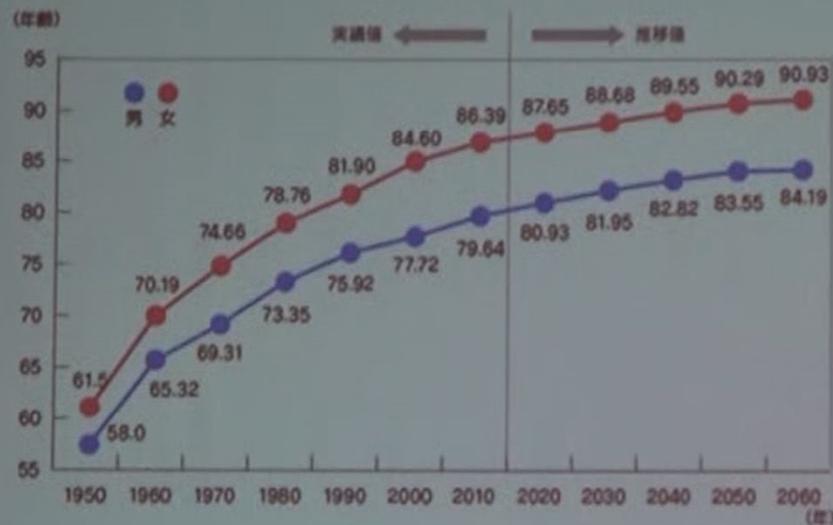
教科学習（身近な生活世界からより遠くの世界へ）
※理科、社会など。数学の形式的な操作世界も
キャリア発達（社会性）



教科学習（今この世界から過去・未来の事象へ）
※歴史、古典など
キャリア発達（将来の見通し）

30分のフルバージョン動画

戦後の人の平均寿命の変化



<男性>

- ①1950年 (58歳)
- ②1960年 (65歳)
- ③1970年 (69歳)
- ④1980年 (73歳)
- ⑤1990年 (76歳)
- ⑥2000年 (77歳)
- ⑦2010年 (79歳)
- ⑧2020年 (81歳)

【出典】1950年及び2010年は厚生労働省「簡易生命表」1960年から2000年までは厚生労働省「完全生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平均24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果



ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

